



提案課題1: 基本方針

<p>大会開催を通じた競技力向上</p> <p>年間20大会を、積極的に誘致・開催、国際大会の開催も目指す。</p>	<p>公園利用者に多様な活用機会を提供</p> <p>都民の憩いの場として、子どもから高齢者まで利用できる芝生広場を提供</p>	<p>施設のサービス魅力向上</p> <p>弾力的な開場時間・休館日を設定、施設のサービス・魅力向上に努める</p>															
<p>■競技団体との連携</p> <p>●国際・国内大会の誘致・開催、アスリート・指導者育成及びスポーツの普及啓発等の事業の実施にあたっては、全日本アーチェリー連盟等競技団体との連携を図り、着実な実施に努めます。</p>	<p>■アスリートの強化、育成の場の提供</p> <p>●アーチェリーの体験教室等の機会を提供し、競技力の向上、次世代アスリートの育成を図ります。</p>	<table border="1"> <tr> <td>アーチェリー競技大会等利用</td> <td>年間20以上の主要大会、全30日以上指導員養成講習会実施</td> <td>6,000人</td> </tr> <tr> <td>多目的利用</td> <td>指定管理者主催事業</td> <td>アーチェリー体験教室 アウトドアフィットネス</td> </tr> <tr> <td></td> <td>占有利用</td> <td>大規模イベント参加者</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標数値計</td> <td>33,000人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般開放利用</td> <td>20,000人</td> </tr> </table>	アーチェリー競技大会等利用	年間20以上の主要大会、全30日以上指導員養成講習会実施	6,000人	多目的利用	指定管理者主催事業	アーチェリー体験教室 アウトドアフィットネス		占有利用	大規模イベント参加者		目標数値計	33,000人		一般開放利用	20,000人
アーチェリー競技大会等利用	年間20以上の主要大会、全30日以上指導員養成講習会実施	6,000人															
多目的利用	指定管理者主催事業	アーチェリー体験教室 アウトドアフィットネス															
	占有利用	大規模イベント参加者															
	目標数値計	33,000人															
	一般開放利用	20,000人															



提案課題2: 施設の提供、運営

■休館日・開場時間

条例記載の開場時間	・午前9時から午後5時まで	
開場時間変更案	・午前8時から午後5時まで	一般園地(広場)としての利用は夢の島公園と同様とし、特に開場時間は定めないこととする。

●利用料金の設定



提案課題3: スポーツの普及振興

アーチェリー競技の普及・振興・次世代のアスリート育成を図る内容を中心とし、幼児・子供、女性、働き世代、高齢者、障害者、指導者など、対象を明確にして高い事業効果を目指します。

■スポーツ振興事業

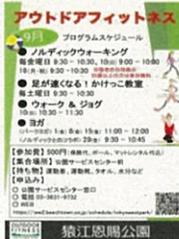
■自主事業ほか

a)アーチェリーの競技大会に付随した指導者講習会

a)アーチェリー体験教室の開催

b)アーチェリーの競技大会に付随した子供を対象の初心者教室など

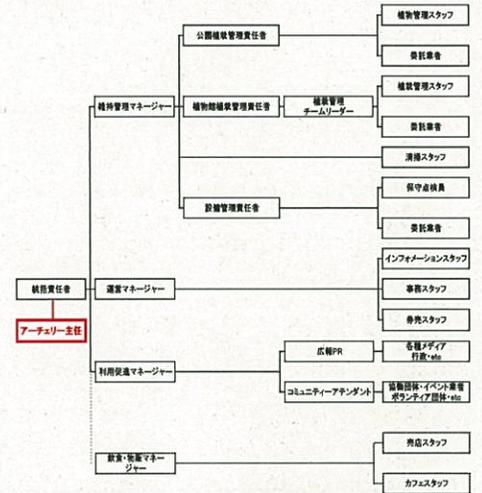
b)アウトドアフィットネス事業の開催



提案課題4: 組織及び人材

- 施設の管理運営全体を統括する責任者(アーチェリー主任)を1名配置します。
- 責任者は管理運営業務全体を統括し、東京都や全日本アーチェリー連盟等の競技団体との連絡調整、利用調整や既存指定管理者との連携等を行います。

組織体制図



II 後利用の視点

○アスリートファースト

- ・主要国内大会の開催を通じて、アーチェリーの競技力強化、普及・振興を図っていきます

目標：年間20大会開催 [国内大会 地区大会 等]

○都民ファースト

- ・都民の憩いの場として、子どもから高齢者まで自由に利用できる芝生広場を提供していきます

